

<報道発表資料>  
(経済同時)

令和8年5月28日

京都市産業観光局クリエイティブ産業振興室  
京都国際マンガミュージアム広報担当

京都国際マンガミュージアム マンガと戦争を考える トークイベント

## 『マンガ家たちの戦争 創作(フィクション)と 現実(リアル)』の開催

今年『ビッグコミック スペリオール』(小学館)にて短期集中連載された増村十七氏の「進め!白鼻進」は、戦前から戦中にかけて活動した児童マンガ家と赤本マンガ出版社を題材にしたフィクション作品です。

子ども向けの物語マンガは、田河水泡「のらくろ」の登場により、昭和初頭に大きく盛り上がりませんが、戦争により一度潰えてしまいました。そんな時代を舞台にマンガ家たちはどのように活躍し、戦争により挫折してしまったのか。フィクションである本作の裏話と共に、知られざる戦前期のマンガ家の活動を紹介します。また、現代のマンガ家とマンガ編集者である増村氏と金城氏の視点も交え、戦争の時代に創作すること/戦争の時代を創作することを考えるトークイベントも開催しますので、是非、御参加ください。

トークイベント終了後には、増村氏のサイン会も開催します。

### 【開催概要】

- 日 時 令和8年7月12日(日) 午後2時~5時  
トーク : 午後2時~4時  
サイン会 : 午後4時~5時
- 会 場 京都国際マンガミュージアム 2階 ギャラリー6  
(〒604-0846 京都市中京区烏丸御池上る)
- 出 演 増村十七(マンガ家)、金城小百合(編集者)  
司会:新美琢真(京都国際マンガミュージアム学芸室員)
- 料 金 無料(ただし、京都国際マンガミュージアム入館料〔大人1,200円、中高生400円、小学生200円は別途必要〕)
- 定 員 40名
- 参加方法 事前申込制・先着順

京都国際マンガミュージアム HP のイベントサイト内にある

(<https://kyotomm.jp/ee/masumura-jushichi>) の申込フォームより、必要事項を入力の上、お申し込みください。

※申込受付は当日のイベント終了時間までとなります。

※定員になり次第受付終了（キャンセルが出た場合は申込が可能となります。ただし、キャンセル待ちのリクエストは受け付けておりません。）

※サイン会についてはイベント当日に当館ミュージアムショップにて対象書籍（「進め！白鼻進」、「花四段といっしょ」、「バクちゃん」「全員記憶喪失オフィス」）を購入された方へサイン会への参加整理券お配りいたします。（定員 40 名/先着順）

● 主 催 京都国際マンガミュージアム

<お問合せ先>

京都国際マンガミュージアム

TEL：075-254-7414

<参考>

増村十七（ますむら・じゅうしち）氏 プロフィール

マンガ家。2012 年「のんちゃん！の破壊日記」で商業誌デビュー。同年、「ワニを飼う」で講談社第 32 回 MANGA OPEN 奨励賞受賞。15～17 年にカナダのマニトバ州ウィニペグに滞在。自身のカナダでの経験が反映された「バクちゃん」（オリジナル版）で、18 年に第 21 回 文化庁メディア芸術祭 マンガ部門 新人賞受賞。19 年より『月刊コミックビーム』（KADOKAWA）にて「バクちゃん」を連載、全 2 巻。21 年より将棋マンガ『花四段といっしょ』（朝日新聞出版社）を連載中。

金城小百合（きんじょう・さゆり）氏 プロフィール

マンガ編集者。國學院大学を卒業後、秋田書店に入社。入社 3 年目に立ち上げた「花のズボラ飯」（原作：久住昌之、作画：水沢悦子）が「このマンガがすごい！」オンナ編 1 位、TV ドラマ化などでも話題に。舞台化、テレビアニメ化された「cocoon」（今日マチ子）などを担当。2014 年に小学館に転職。担当作品に「プリンセスメゾン」（池辺葵）、「往生際の意味を知れ！」（米代恭）、「女（じぶん）の体をゆるすまで」（ペス山ポピー）、「サターンリターン」（鳥飼茜）などがある。『進め！白鼻進』担当編集者。

<使用提供可能画像>

本イベント紹介にのみ使用可能な広報画像です。キャプションやクレジットの記載と共にご使用ください。使用希望の際は、お申し出いただきましたらメールでお送りいたします。

「進め！白鼻進」©増村十七／小学館



<この報道発表に関する担当課>

京都市産業観光局クリエイティブ産業振興室

電話：075-222-3306